

自分の国は自分で守る。不審船対策はさらなる強気の姿勢こそが必要

昨年末に起きた東シナ海での北朝鮮籍の工作船と見られる不審船の銃撃・沈没事故。これは米軍の東シナ海巡視が手薄になった機を見計らった狼藉だった。工作船の目的は日本海でもたびたび問題になった工作員の潜入や日本人のら致もあるが、麻薬の密輸にも深く関係しているとか。日本は北朝鮮との正常な国交を表向きでは目指しているが、裏社会ではドラッグで結びついていく事実にも目を向けなければならぬ。経済協力、失踪日本人の身元確認、歴史的和解をいくら慎重に進めていても、この無遠慮な密輸や秘密工作が進む限り、両国間の未来は暗い。引き上げた不審船が日本の治安を脅かせる北朝鮮の工作船と断定された際は、これを武器に不明日本人の徹底調査を強く求めるなど、強気の外交を進めても良いのではないだろうか？それができないなら、国交断絶と、自衛隊による領海の保安活動を即座に決定すべき。いつまでもアメリカさんに頼るのはやめてくれ。

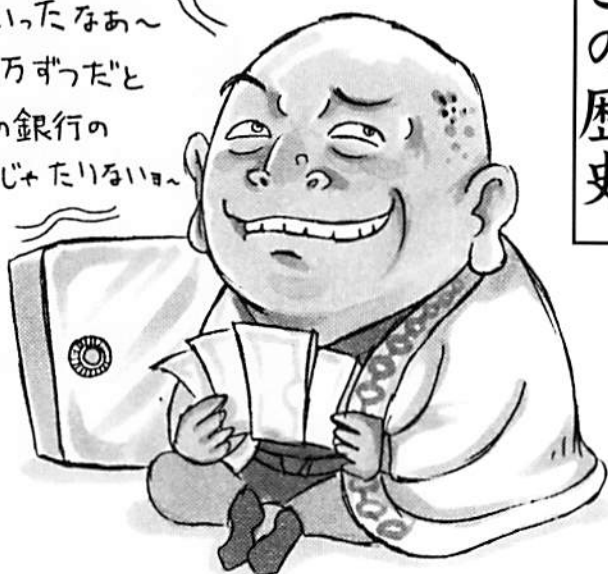
いまどきの歴史

一番新しい日本のページ

ペイオフ解禁

「貯金は減らない」神話は終わった  
自分の資産は頭を使って守り、増やせ！

まいったなあ～  
1000万ずったと  
日本の銀行の  
数じまたいるいよ～



銀行、信用金庫などの金融機関が破綻した時の預金保護制限「ペイオフ」が解禁！定期預金は今年4月、普通預金は来年の4月にその対象になる。保護対象はひとつの金融機関の1人あたりの保障額1000万円+その利息まで。それ以上の金額は破綻した金融機関の状況により支払い率が変わる。最悪、2000万円預金しても1000万円+その利息しか戻らない場合もある！これまで日本での預金が全額保証されてきたことを考えるとまさに大事件だ。これに対し預金者は「1000万円以下の預金を複数の金融機関に分散」「資産を債券や投資信託など預金以外の金融商品として持つ」「資産を不動産として持つ」などの方法でリスク回避しなければならない。ペイオフが機能すれば、金融機関が平均して潤うだろうし、多くの人が投機に積極的に参加し、市場が活性化する。しかし、逆なら金融不安を駆り立て、ますます破綻する金融機関が増えるかも。新制度の成否はまさに預金者にかかっているのだ。だからこそ、我々はもっと金融について学び、「攻める」資金活用・運用も視野に入れたいものだ。

隣家の不審猫…。  
エアガンで威嚇射撃は  
イケマセン。



これぞ畑違い？

英断か？苦し紛れか？売上アップを  
目指してユニクロが野菜販売を開始

ユニクロを経営するファーストリテイリング社が新規事業として健康野菜の販売を開始すると発表した。近頃、衣食住複合型のショップが人気。無印良品は着々と業績を伸ばしているし、コムサイズムも梅田に巨大な衣食住複合ショップをオープンさせ、話題をさらっている。しかし、ユニクロには今後の大幅な売上落ち込みの対応策として食品産業に踏み切ったというネガティブな動機がある。豊作・不作に敏感に反応し価格の変動が激しい野菜を扱うのはかなり不安。「良い商品を消費者に届けたい」という気持ちは立派だが、消費者が本当に良い野菜を求めているかどうかは、スーパーの食品売場を見ればよくわかる。京の食文化は「はしり」「旬」「なごり」といった季節の移り変わりを大切にするというが、京都の一般消費者の多くでさえ野菜の旬を漠然としか感じていないと思う。悲しいけど「良いものが売れる」とは必ずしも限らない。健康野菜販売を心から応援はしているけど。

まよなか  
こんなCMに出るのって久しぶりだ...



オトレーサー  
27歳



文◎大塚 祐希

1968年大阪府八尾市生まれ。昔ながらの京都の民家を仕事場とするライター集団「大塚祐希事務所」の暫定CEO。「スポーツが好きだが自分ではやらない」「車が好きだが免許を持っていない」「酒が好きだが外で飲むと店で眠ってしまう」という数々のジレンマと戦いつつ、今日も愛機G4を駆る。



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP◎http://www.d1.dion.ne.jp/ryoguchi